

令和3年度住宅市場整備推進等事業

住宅・建築生産性向上促進事業

(うち、良質なストック形成、既存住宅流通・リフォーム市場の環境整備等に関する事業)

住宅建設技能者のCCUS制度等の普及促進事業

成果報告書

令和4年3月

一般社団法人木を活かす建築推進協議会

目次

1. 目的及び概要	
(1) 目的・内容	・・・・・・1
(2) 団体事務担当者説明会を実施	・・・・・・3
(3) 事業者説明会を実施	・・・・・・5
2. 住宅建設技能者のCCUS制度等の普及促進事業の実施概要	
(1) キャリアリンクの利用による就労履歴の蓄積	・・・・・・7
(2) キャリアリンクの使用方法等について個社説明を実施	・・・・・・7
(3) キャリアリンクを利用している様子	・・・・・・9
(4) CCUS についての学習テキストを作成	・・・・・・10
(5) CCUS についての講習会を実施	・・・・・・11
(6) 講習会受講者にアンケートを実施	・・・・・・14
(7) CCUS 普及促進会議を実施	・・・・・・16
(8) CCUS 及び就業履歴の蓄積等についてアンケートを実施	・・・・・・16
3. 今後の見通し	・・・・・・18
4. 資料・成果物	
(1) 労務安全管理システム（キャリアリンク）の周知ちらし	
(2) 利用についてのアンケート及び報告書の集計結果	
(3) 団体事務担当者説明会資料	
(4) 事業者説明会資料	
(5) CCUS 対策委員会資料	
(6) 参加企業一覧	
(7) 問い合わせ一覧	
(8) CCUS 講習会資料	
(9) CCUS 学習テキスト	

1. 目的及び概要

(1) 目的・内容

建設業の技能者の約3分の1は55歳以上となっており、他産業と比べて高齢化が進行している。建設業が引き続き重要な役割を果たしていくためには、将来の建設業を支える担い手の確保が急務となっている。特に若者や女性の建設業への入職や定着の促進などに重点を置きつつ、働き方改革を着実に実行し、魅力ある職場環境を整備することにより、人材確保・育成を進めていくことが重要である。

こうした観点から、技能者の就業履歴や保有資格を業界統一のルールで蓄積することにより、個々の技能者が経験や技能に応じて適正に評価され、その処遇の改善につながる環境を整備するための仕組みとして「建設キャリアアップシステム（以下、CCUSという）」が平成31年4月より運用開始、さらにそこに蓄積される情報を活用した「建設技能者の能力評価制度（以下、能力評価制度という）」の運用が令和2年4月から開始された。CCUSおよび能力評価制度は建設技能者全体に向けて構築が進められており、総合建設業の下で施工を行う専門工事業団体のうち登録基幹技能者講習を実施する35職種を中心に活用され始めている。

住宅業界におけるCCUSの普及について、現在徐々に進んでいるものの、特に住宅建築現場及び小規模現場においては、事業者・技能者登録の遅れが課題となっている。①制度自体を知らない②建設技能者がCCUSを利用して就業履歴を蓄積するために、元請事業者による現場でのカードリーダー設置場所の確保が困難③元請・下請双方の事業者によるシステム上の操作作業等が必要であることに負担感があることが普及を妨げていると考えられる。このような課題の解消とCCUSの更なる普及に向け、CCUSの拡張機能の利便性、機能拡張による普及促進効果等を検証する。

実際の建設現場におけるモニター（協力会社）を募集し、応募された事業者から実施する事業者を選定し、住宅現場において、携帯電話やスマートフォンを用いた電話発信や顔認証アプリといったカードリーダー以外の現場入場管理手法に軸を置き、実効性を検証する。今回は、電話発信や顔認証による現場入退場管理や就業履歴蓄積方法として、R2年度国交省実証事業でコムテックス社が開発したシステム・アプリを活用。以下、キャリアリンクという。

検証結果を踏まえ、CCUSの効果や課題を収集し、住宅業界においてより使いやすいシステムの構築とCCUSの普及を経て技能者の処遇改善や事業者の現場管理効率化等を実現し、住宅業界の更なる発展に繋げる。

CCUSの運営主体である（一財）建設業振興基金と昨年まで、建築大工の能力評価基準の策定及び住宅現場におけるCCUS現場運用の具体的課題の抽出及びその対応策を議論してきた住宅生産関係7団体のうち、全国建設労働組合総連合等と共に上記課題の解決に向けて検討する。

①CCUSの趣旨・目的の説明とカードリーダーや携帯電話又はスマートフォンを用いた就業履歴の蓄積に向けた機器等の導入手順についての説明会を実施する。CCUSへの賛同を得ると

ともに、導入に向けた手段について周知し、モニター（協力会社）への応募を促す。あわせて、CCUSに関する研修会を開催し、さらなる普及促進を図る。

②住宅建築現場・小規模現場を中心に、CCUSの登録から就業履歴の蓄積に向けて関係団体から協力を得ると共に、CCUS実証実験の受託事業者であるコムテックス株式会社から支援を受ける。支援については、初期の情報登録及び機器の設置等に係る問い合わせ対応などを想定している。

なお、協力会社は原則として以下の事項を行うことを要件とする

1) CCUS登録対応

- ・事業者登録（自社だけでなく、協力会社含む）
- ・各下請事業者に所属する技能者情報の登録
- ・現場情報登録（施工体制登録及び作業員名簿登録含む）

2) 入退場管理システム（以下、キャリアリンク）の利用

3) アンケート対応

4) その他ご意見・ご要望を提出（任意）

③実際に使用し、使い勝手や運用上の課題や工夫・導入の効果（技能者のシステムに対する習熟状況、携帯電話やスマートフォン・カードリーダーの差）を情報収集し、検証する。

(2) 団体事務担当者説明会を実施

〈参加団体〉

一般社団法人 J B N ・ 全国工務店協会
全国建設労働組合総連合
一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会
一般社団法人日本ログハウス協会
愛知県建設団体協議会

〈説明者〉

コムテックス株式会社

〈事務局〉

一般財団法人建設業振興基金
一般社団法人木を活かす建築推進協議会

開催概要	令和3年5月18日(火) 17:00~18:00 令和3年5月19日(水) 17:00~18:00 令和3年5月20日(木) 10:00~11:00
場所	zoom
目的	各団体の1次窓口として対応できるようにキャリアリンクの理解を深めていただく。 1)現場利用開始までに準備する内容を理解し、初期データ登録シートについても問合せ対応できるようにする。 2)現場運用についてイメージを理解し、CCUSへの就業履歴登録までの手順とケースバイケースでの対応について理解を深めていただく。
要旨	<カリキュラム> (①~⑧で60分) ①全体スケジュールについて ①オープニング(ご挨拶とカリキュラム説明) ②申込から稼働までのフロー ③運用フロー(キャリアリンク) ④システム詳細(画面デモ含む) ・現場運用開始までの設定ガイド(現場運用開始マニュアル) ・入退場登録の現場利用ガイド ・CCUSデータ連携ガイド

- ・各アカウントの権限
- ・準備編:現場登録・下請事業者登録・技能者登録(代行と招待)
- ・運用編:現場の電話番号設定、電話発信での入退場登録、就業履歴のエラー修正
- ・入退場登録体験デモ
- ・CCUS 連携編:CCUS 就業履歴登録手順
- ⑤問合せ窓口について
- ⑥CCUS への登録について
- ⑦実証実験について
- ⑧質疑応答

住宅建設技能者のCCUS制度等の普及促進事業【国土交通省補助事業】について
住宅現場において、携帯電話やスマホを用いた現場入退場管理手続の実用性を検証・より使いやすいシステムの開発とCCUSの普及促進に繋げる事業です。
みなさまにはコムテックス製の労務安全管理システムを利用しアンケートにご協力いただきます。

労務安全管理システム
ココラを現場に提示(A4サイズ)

入退場登録用電話番号
富山ビル
入場 0764-00-0001
退場 0764-00-0002

顔認証で

電話で

労務安全管理システムで
**技能者の
現場入退場を
リアルタイムに確認**

入退場方法は
2種類!

現場入退場時

データを蓄積

CCUSに連携

現場情報

建設キャリアアップシステム

入退場情報

入退場登録の詳細

STEP 1 **A 電話発信または B 顔認証で入退場登録**

A 指示された番号へ電話

通話料不要

A 入場 0764-00-0001
退場 0764-00-0002

B 顔認証 (QRコードスキャン)

管理者から送られたメールのURLをタップ

現場に提示されている「顔検出コード」を読み取り

起動したカメラで

「入場する」「退場する」をタップ

STEP 2 **現場入退場情報がリアルタイムに自動で蓄積!**

日付	現場名	会社名	氏名	職種	立場	入退場履歴
04/08	富山ビル	水見建設	富山一郎	大工	職長	08:00-17:00
03/21	富山ビル	水見建設	富山一郎	基礎工	職長	08:00-17:00
03/20	富山ビル	水見建設	富山一郎	基礎工	職長	08:00-17:00

住宅建設技能者のCCUS制度等の普及促進事業【国土交通省補助事業】

【ご利用申し込みからの流れ】

- 1 団体事務局担当者からコムテックス宛へご利用申し込み
- 2 コムテックス側が管理者へ労務安全管理システムID・パスワードをメール(申し込みから8営業日以内)
- 3 事業者説明会にご参加
- 4 元請管理会社が労務安全管理システムにログインし、電話番号+QRコードが記載された提示物を印刷、現場に貼る
- 5 現場にてご利用開始(7月~12月の間:1日1回程度、都合の異なる日)
- 6 利用した履歴をアンケートにご記入(1月に本事業事務局の一般社団法人を通じて調査結果報告より団体事務局担当者へ送付予定)

※1 事前に労務安全管理システムで現場入退場電話番号を設定する必要があります。
※2 顔認証は本事業に特化した専用システムで開発されています。
※3 対象OS: Android / iOS (2以降)
※4 CCUSへの登録が必要となります(作業履歴の連携は必須となります)。
※5 詳細に関するお問い合わせは、担当者それぞれ1対1でお答えいたします。(2週間以内)
【お問い合わせ先】一般社団法人 建設産業推進 担当: 奥田 昌彦
メールアドレス: info@comtexmsh.jp

労務安全管理システム提供元
COMTEX
コムテックス株式会社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話番号: 03-5561-7111

(3) 事業者説明会を実施

〈参加団体〉

一般社団法人 J B N ・ 全国工務店協会
全国建設労働組合総連合
一般社団法人全国住宅産業地域活性化協議会
一般社団法人日本ログハウス協会
愛知県建設団体協議会

〈説明者〉

コムテックス株式会社

〈事務局〉

一般財団法人建設業振興基金
一般社団法人木を活かす建築推進協議会

開催概要

- 第1回：令和3年6月29日（火）14時～15時
- 第2回：令和3年7月8日（木）18時～19時
- 第3回：令和3年8月3日（火）10時～11時
- 第4回：令和3年8月23日（月）14時～15時
- 第5回：令和3年9月7日（火）10時～11時
- 第6回：令和3年9月28日（火）14時～15時
- 第7回：令和3年10月4日（月）10時～11時
- 第8回：令和3年10月22日（金）14時～15時
- 第9回：令和3年11月8日（火）10時～11時
- 第10回：令和3年11月16日（火）14時～15時
- 第11回：令和3年11月24日（水）16時～17時
- 第12回：令和3年11月22日（金）14時～15時

場所 zoom

目的 現場入退場システムの操作方法を確認すること

要旨 <カリキュラム>

1) 電話発信

<現場開始前>現場初日まで準備事項（管理者）

<現場運用中>現場入退場登録（技能者）

2) 顔認証

<現場開始前>現場初日まで準備事項（管理者・技能者）

<現場運用中>現場入退場登録（技能者）

3) 共通

<現場運用中>①入退場登録確認（管理者）

②CCUS 就業履歴へ反映（管理者）

4) トラブル対応

5) まとめ

質疑応答

2. 住宅建設技能者のCCUS制度等の普及促進事業の実施概要

(1) キャリアリンクの利用による就業履歴の蓄積

事業者説明会に参加した技能者・事業者がそれぞれ技能者登録・事業者登録を行い、キャリアリンクを実際に利用し、現場への入退場を記録した。さらに、キャリアリンクに蓄積される就業履歴情報をCCUSと連携し（取り込み作業を行い）、CCUSに就業履歴情報を蓄積した。

- ①全国建設労働組合総連合 32 事業者
- ②一社) JBN・全国工務店協会 7 事業者
- ③一社) 全国住宅産業地域活性化協議会 3 事業者
- ④一社) 日本ログハウス協会 5 事業者
- ⑤愛知県建設団体協議会 5 事業者

(2) キャリアリンクの使用方法等について個社説明を実施

運営を開始する企業に対して、CCUS 事業者 ID や技能者 ID の登録方法や就業履歴のCCUSとの連携方法など、個別具体の対応が求められたことから、依頼のあった個社に対して、WEBにて、情報の登録方法等の説明を行った。説明を行った企業はすべて、キャリアリンクの運用がスムーズに開始できた。

以下、企業名と説明日、説明内容を記載する。

①企業名：会津建設株式会社 [JBN]

実施日：2021/11/29 16:00-17:00

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法

②企業名：株式会社エコ・ビレッジ [JBN]

実施日：2021/12/9 13:30-15:00

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法

③企業名：松永建設 [全建総連]

実施日：2021/12/3 10:00-11:00

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法

④企業名：有限会社野田建築 [全建総連]

実施日：2021/12/2 13:00-14:30

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法、CCUS 修行履歴登録

⑤企業名：アサヒ・クリーン・アップ [全建総連]

実施日：2021/12/10 16:00-17:00

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法、CCUS 修行履歴登録

⑥企業名：株式会社まつお工務店 [全建総連]

実施日：2021/12/2 15:00-16:00

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法

⑦企業名：株式会社キクザワ [JBN]

実施日：2021/12/17 16:30-17:30

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法

⑧企業名：ビ・ボーン株式会社

実施日：2022/1/7 13:00-14:30

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法

⑨企業名：株式会社建和 [全建総連]

実施日：2022/1/7 9:30-11:00

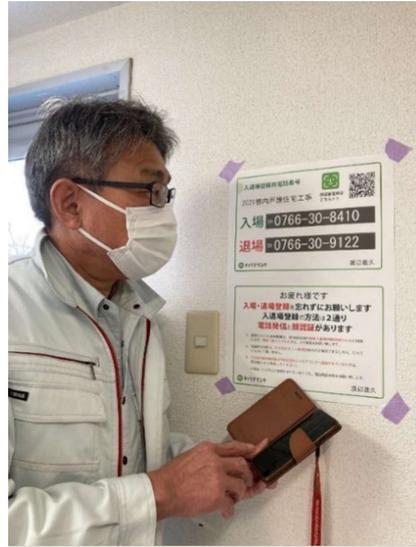
説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法

⑩企業名：株式会社フェニックスホーム [ログ協]

実施日：2022/1/20 10:00-11:00

説明内容：入退場用電話番号の設定と掲示用 PDF の出力方法、入退場登録の方法、就業履歴一覧画面の見方とエラー修正の方法、技能者登録の方法

(3) キャリアリンクを利用している様子





(4) CCUS についての学習テキストを作成

講習テキストは、事務局で編集した3種のデータを地域団体へ提供し、各団体で最新の情報に更新をしながら、合計約1000部を印刷した。受講者333人の他、講習を実施した地域団体の事務局説明用及び未受講者の学習用、講習を実施しなかった地域団体に学習用として提供した。

- ・講習テキスト①「建設キャリアアップシステム（概要・登録手続き等）」

CCUS の制度概要や最新の情勢、申請方法・注意点について掲載

- ・講習テキスト②「現場・施工体制の登録情報の閲覧・出力」

CCUS 登録後の現場・施工体制の登録について概要と手続き方法を掲載

- ・講習テキスト③「能力評価制度、見える化評価制度（概要、申請手続き等）」

建設技能者の能力評価制度、事業者の見える化評価制度の概要、手続き方法

【講習テキスト印刷部数】

使用内容	印刷部数	使用内容	印刷部数
茨城県連 CCUS 講習会	30 部	京都建労 CCUS 講習会	200 部
東京都連 CCUS 講習会	110 部	広島建労 CCUS 講習会	60 部
首都圏ユニオン CCUS 講習会	50 部	建設山口 CCUS 講習会	120 部
東京土建 CCUS 講習会	30 部	香川建労 CCUS 講習会	90 部
千葉土建 CCUS 講習会	40 部	福岡建労 CCUS 講習会	70 部
神奈川県連 CCUS 講習会	150 部		
全建愛知 CCUS 講習会	120 部	合計	1070 部

(5) CCUS についての講習会を実施

全国建設労働組合総連合と加盟組合である 14 地域団体において、CCUS の就業履歴登録の現場運用と CCUS の講習会を実施した。大工技能者など及び工務店経営者が参加した。

○実施スケジュール

- ・2021 年 9 月～2022 年 1 月

CCUS 及び就業履歴登録についての講習会

CCUS の就業履歴登録の現場運用後にその経験を中心に、概要等を共有する CCUS 講習を 21 年 9 月～22 年 1 月に実施した。講習では、就業履歴登録の現場運用に元請・一人親方として取り組んだ事業者とその事業者をサポートした地域団体の事務局から、現場運

用の経験に基づく問題点や改善点、成果等を報告し、その経験・情報を共有した。現場運用の取り組みを呼びかけた。

講習は 14 地域団体で 12 回開催（一部地域団体は合同開催）し 333 人が受講した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面・WEB を問わず開催をしたが、受講者が集まりづらい状況もあった。

講習を実施した地域団体等	受講者数	講習実施日	受講方法
茨城県連	10 人	2021 年 9 月 14 日	対面
東京都連	34 人	2021 年 10 月 25 日	対面・WEB 併用
首都圏ユニオン	15 人	2021 年 12 月 22 日	対面
東京土建	10 人	2022 年 1 月 15 日	対面
千葉土建	12 人	2021 年 12 月 21 日	WEB
神奈川県連 建設横浜 神奈川土建	45 人	2022 年 1 月 20 日	対面
全建愛知	38 人	2022 年 1 月 6 日	対面
京都建労	64 人	2022 年 1 月 6 日	対面
広島建労	19 人	2021 年 12 月 13 日	対面
建設山口	37 人	2021 年 12 月 17 日	対面
香川建労	27 人	2021 年 10 月 29 日	対面
福岡建労	22 人	2021 年 12 月 16 日	対面
合計	333 人		

○講習のカリキュラム（基本）※100 分程度

基本カリキュラムをベースに地域団体ごとに内容をアレンジして実施した。

①CCUS について

- ・システムの概要と登録手続き
- ・現場・施工体制の登録手続き
- ・能力評価制度、見える化制度の概要・申請手続き等

②CCUS と連動した「技能者の能力評価制度」と「事業者の見える化評価制度」

- ・技能者の能力評価制度（レベル判定システム）の現状
- ・能力評価制度（レベル判定システム）の申請方法
- ・事業者の見える化評価制度の概要

- ・工務店評価制度の申請方法

③CCUS 就業履歴登録の実証事業

- ・キャリアリンクの概要・使用方法
- ・キャリアリンクを使用した就業履歴登録について
- ・CCUS 就業履歴登録の実証事業を行った元請事業者、事務局からの経験報告

【講習会の様子】





(6) 講習会受講者にアンケートを実施

各地域団体でアンケートを実施。213 の回答（回答率 63.9%）を回収した。

アンケート項目は①年齢、②実務経験年数、③職種、④講習の理解度（5段階評価）、⑤CCUS への技能者登録、事業者登録の有無、⑦未登録者の登録しない理由、⑧技能者の能力評価の取得の意向、⑨技能者の能力評価を取得しない理由、由、⑩事業者の見える化評価制度の取得意向、⑪事業者の見える化評価制度を取得しない理由、⑫CCUS 現場履歴登録モデル現場の経験報告を聞いた感想、⑬キャリアリンクを労務管理や就業履歴登録に使用する意向とし、回答を受けた。

平均年齢（加重平均）は 55.8 歳、実務経験は 33.4 年、職種では大工が全体の 46.0%、内装が 8.1%、左官・建設業がそれぞれ 9 人、そ以外の職種が受講。講習会の評価は 5 段階評価の平均で 3.60、各団体で 2.90 から 5.00 と幅が出る結果となった。

CCUS への技能者登録・事業者登録の状況について、技能者登録は登録済が 47.9%、事業者登録の登録済が 30.0%。技能者の能力評価、事業者の見える化評価を取得する意向について、技能者の能力評価は取得済みが 24.9%、取得したいが 25.4%、取得しないが 30.0%、見える化評価は取得済みが 7.5%、取得したいが 24.9%、取得しないが 36.6%となった。技能者については登録と能力評価に近い数字となり、カードの取得と能力評価をまとめて取得する傾向が把握できたこと、見える化評価については今回の講習を受講して検討に入る方が一定居たことは成果といえる。

また、働き方改革等の関連からキャリアリンクを労務管理に活用したいかについては、利用したいが 15.0%、利用料次第が 43.2%、利用しないが 26.3%となった。キャリアリンクの時間管理オプションの料金が定まっていない点、導入費用が高額という点も相まった結果となった。

【CCUS に登録をしていない理由】

必要に迫られていないが 40.0%と多数を占め、次に高齢のため 11.7%、メリットがない、時間がかかる・手続きが大変で 8.3%。

町場の職種が受講者の多数を占める中、なかなかメリットの打ち出しができず浸透していないことがわかった。

【技能者の能力評価を取得しない理由】

必要に迫られていないが 40.0%、高齢のためが 40.0%と同数。その他メリットがない、職種が評価に対応していないなど、評価制度の浸透が必要。

【事業者の見える化評価を取得しない理由】

必要に迫られていないが 24.1%、高齢のためが 20.7%、上記項目と同傾向だが、取引先で CCUS 登録をしているところがないが 6.9%あるなどが特徴となっている。

【講習会を受講した主な感想】

◎CCUS について

- ・根付くまで時間がかかる
- ・手続きを簡素化してほしい
- ・もっと簡易でないと普及しない
- ・町場のメリットが感じられない
- ・実用性があると思えない
- ・システムは便利だと思うが導入が手間
- ・もっと若いころにあればじん肺の現場記録ができて役に立った
- ・自分の経験が積みあがっていくのが良いと思った
- ・ゴールドカードを目指したい
- ・一定年数を経た人はどう思うか
- ・地域でみんなが一斉にやれば広がるのではないか
- ・現場作業以外の就労（訓練校や加工作業等）を履歴に残せないか

◎キャリアリンクについて

- ・電話をかけてキャリアリンクに登録をすることを忘れそう
- ・電話方式は簡易が良い
- ・電話は便利だが事業主の負担が大きそう
- ・資材運搬等の際に電話をすることを忘れそう
- ・ランニングコストがかかるのが良くない
- ・費用が高い
- ・データの入力が難しい
- ・キャリアリンクを活用して従業員の就労管理ができると分かった
- ・これからの若い世代には必須で、今いる社員への周知を図っていきたい
- ・とても分かりやすくイメージがわいた
- ・現場をまとめることができるようなので、利便性が高いと思った。
- ・キャリアリンクの料金が気になる。
- ・職人の時間管理が楽になると感じた
- ・電話は悪用される恐れがあると思った

(7) CCUS 普及促進会議を実施

CCUS 対策委員会を 21 年 7 月 8 日、11 月 11 日に東京（WEB 併用）で開催した。地域団体で構成する 10 地方協議会の代表者の委員 11 人と全建総連の委員 4 人（副委員長、書記長、書記次長 2 人）が出席し、対面・WEB 併用の会議にて実施した。



CCUS 現場登録の実証事業であるキャリアリンクについてコムテックス(株)からシステムの説明を受けた。システムの概要や料金プラン等について説明を受けた。

報告事項では、CCUS の運営、普及促進の状況について、全建総連各地域組合での目標設定の状況、実証事業の進捗、レベル判定の利便性向上に向けた対応、2022 年度「建設事業主等に対する助成金」の制度改正の検討状況等について共有。

協議事項として CCUS 技能者登録料、見える化手数料の支援の内容等について議論を行った。

(8) CCUS 及び就業履歴の蓄積等についてアンケートを実施

CCUS の手続きや入退場の登録、就業履歴の蓄積についてアンケートを実施した。49 事業者 172 名より回答を得られた。

利用期間は、概ね1週間～1ヶ月程度だった。全体の8割が現場に貼られた電話番号へ架電することで、現場への入退場を記録できる電話発信方式を利用し、事前にスマートフォンで自分の顔を登録したうえで、現場への入退場の際に自分の顔を撮影して入退場を記録する顔認証は、手続きが複雑なためか2割程度だった。

技能者の就業履歴について、「今まで就業履歴の記録を行ったことはなかった」「手書きの勤務表で就業履歴の記録を行っていた」と回答した事業者が75%と、多くの住宅建築現場もしくは小規模現場において、入退場を記録したり、CCUSと連携するようなシステムを利用していなかったことが明らかになった。

キャリアリンクについて、難しかった操作として「事前の登録」「CCUSへ就業履歴を送る前のCCUSへの現場登録」が挙げられた。また、困ったことは「電話発信・顔認証とも入力忘れが多発」「システムの習慣の定着」「顔認証は携帯電話の操作が増え、ヘルメットやマスクの着脱などがあり使いにくい。」といった声があった。その一方で「電話発信は、使いやすい」「入退場に関してはICカードリーダーを置くより、コスト・管理手間どちらをとってもコムテックスさんの電話発信方式が採用しやすい。」と、顔認証と違い、事前登録が不要であり、使用方法が分かりやすい電話発信方式は概ね好評だった。

今後の課題としては、システムの操作性を向上させることである。今回の実証実験においても「事前登録が複雑だった。」「エラーが表示されても解決方法が分からない」「直感的に使いにくい点もある。」といった声があった。事務員のいない工務店やパソコンの操作に慣れていない工務店経営者が容易に操作できるシステムの構築が、さらなるCCUS普及促進につながると考えられる。

3. 今後の見通し

業界全体で CCUS の普及・促進をすすめるためには、町場・住宅現場での登録・活用が鍵となる。そのためには、①技能者にキャリアパスを提示し将来への見通しが立ちやすくなること、②技能者の処遇改善による人材不足の解消、③技能者を雇い・育成する事業者が評価され受注機会につなげられることが必要であり、そのためにも CCUS の目的と将来展望を知る学習機会が必要である。

町場・住宅現場での就労履歴の蓄積には課題も多い。多くが小規模現場、同日に複数現場での稼働、費用負担感などが影響しており、①就労履歴を蓄積する機会の確保、②機器の管理・操作、③登録等の手続きの煩雑さ、④イニシャル・ランニングコスト等の導入費用の負担感などネックとなる部分を取り除くことで普及につながってくる。

普及広報の一環として、当協会の HP において、本事業で作成した労務安全管理システム（キャリアリンク）の周知ちらしをはじめ、事業概要を掲載する。

CCUS の普及が遅れる住宅現場の建築大工等の技能者、小規模工務店への CCUS 登録、技能者の能力評価制度、事業者の見える化評価制度を一体的に理解できる機会をつくることで普及を後押しし、社会的・国民的ニーズのもとで創られた CCUS を建設業の社会的インフラへと押し上げ、住宅分野でも CCUS が目指す技能者の能力評価による処遇改善が若年技能者確保につなげていく。